

令和4年度 FD 実施計画書・報告書

令和5年4月現在

I 学部学科・研究科名

幼児保育学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組N°	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	履修カルテを拡張したシステムで運用する学科独自の DP ルーブリック、カリキュラムマップを策定した。各科目の担当教員がルーブリックの内容を検討し、令和5年度からの本格的な運用に向けて万全な体制を整えた。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリック共通フォーマットを授業担当者へ周知	I-2-(1)	DP ルーブリック導入率 R4 年度：授業ルーブリック 42%（導入率 到達目標 30%）課題ルーブリック 44% R5 年度：授業ルーブリック 43%（導入率 到達目標 40%）課題ルーブリック 40% （授業ルーブリック導入率の到達目標を課題ルーブリック導入率の努力目標とする）
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等のカリキュラム化	I-1-(4)	令和5年度のカリキュラム変更により新設予定の数理・データサイエンス・AI に関する科目「データサイエンス入門」の授業内容、コマ数（案）、今後の課題について、全教員で共通認識を図った。
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・ 「成績評価ガイドライン」に基づく各学科・研究科の実施要領の策定	I-2-(2)	前年度（令和3年度）の成績分布データを全学科教員で共有し、ポリシー策定について検討した。免許、資格認定に関わる科目が大半を占めることを踏まえ、当面の間は全学基準の成績評価ガイドラインに準拠することを確認した。今後もより慎重な議論を継続する必要がある。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	学科 FD 研修会（予定7回 実施7回） ・ 1 回あたりの平均時間：約1時間 ・ 1 回あたりの平均出席率：95% ・ その他、教育ワークショップ、短期大学部 FD 研修会、入試課、就職課との情報共有 出席率：95%

取組 N o	B その他取り組み項目	B その他取り組み項目 達成内容
6	教育課程・教育目標・教育内容の検証 ・新教職課程に向けた「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の見直し ・初年次教育（幼児保育基礎セミナー）の見直しと改善	令和 5 年度からの新教職課程（新カリキュラム改定）に向けて、新設科目名と教員配置案、および初年次教育科目「幼児保育基礎セミナー」の見直し（開講方法と内容、成績認定に関わる運用など）を行った。保育士課程との調整を含めた具体的な実施案を検討した。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】(年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
5	4 月	「2022 年度の年間テーマとスケジュールについて」 2022 年度学科 FD ワークショップの年間テーマとスケジュールを確認し、全教員の各種課題の共通認識を図る。	R4. 4/2	2022 年度学科 FD ワークショップの年間テーマとスケジュールを確認し、全教員で各種課題の共通認識を図った。
1 5	6 月	「DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定」 ・ DP ルーブリックの策定	7/7	・履修カルテを拡張した DP ルーブリック、カリキュラムマップの本格的な運用に向けて、各授業の担当教員によるルーブリック作成を推進した。 ・R6 年度入試に向けて、総合型入試の現状と課題について認識を共有した。
6	8 月-9 月	「教育課程・教育目標・教育内容の検証 1」 2021 年に引き続き、新教職課程に向けた「領域及び保育内容の指導法に関する科目」について、具体的な実施案について検討する。	6/2	令和5年度からの新教職課程(新カリキュラム改定)に向けて、新設科目名と教員配置など、保育士課程との調整による具体的な実施案、および初年次教育科目「幼児保育基礎セミナー」の開講方法と内容、成績認定に関わる運用等について検討した。
2 3	10 月	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・各学科におけるルーブリック導入率(授業ルーブリック・課題ルーブリック)の向上 ・ルーブリック共通フォーマットを授業担当者へ周知 Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・数理・データサイエンス・AI に関連する科目等のカリキュラム化	10/6	・R4 年度の授業ルーブリック、課題ルーブリックの導入率の現状と到達目標値について共通認識を図った。次年度もさらなる導入率の向上に努める必要がある。 ・情報教育担当教員より数理・データサイエンス・AI に関する新設科目「データサイエンス入門」の内容、コマ数(案)、今後の課題が説明され、全教員で認識を共有した。
4	12 月	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・「成績評価ガイドライン」に基づく各学科・研究科の実施要領の策定	12/1	前年度(令和3年度)の「成績分布データ」を全学科教員で共有し、ポリシー策定について検討した。免許、資格認定に関わる科目が大半を占めることを踏まえ、当面の間は全学基準の成績評価ガイドラインに準拠することを確認した。今後の授業ルーブリック導入率の推移を注視しながら、より慎重な議論を継続する必要がある。
6	2 月	「教育課程・教育目標・教育内容の検証 2」 初年次教育(幼児保育基礎セミナー)の見直しと改善として、2022 年度に実施した幼児保育基礎セミナーについて省察し、変更点、改善点等を検討する。	R5. 2/2	初年次教育(幼児保育基礎セミナー)の見直しと改善に向けて、2022 年度の「幼児保育基礎セミナー」の授業内容を省察し、変更点や改善点などについて検討した。

1 2 3 4 5 6	3 月	「2022 年度の総括と入試・就職の実態と次年度に向けた取り組み」 2022 年度の総括および入試課・就職課と連携して次年度の幼児保育 学科の入試・就職状況について省察を行い、次年度に向けた入試・ 就職支援のあり方を検討する。	3/2	就職課、入試課より 2022 年度の就職、入試の実態に関する報告を受け、意見交換を 行った。特に近年の厳しい入試状況や今後の課題について共通認識を図った。今後も さらに関係各課との連携を深め、課題解決に向けた検討を継続する。
----------------------------	-----	--	-----	--